

## 日程第2．一般質問

○議長（古畑浩一君）

日程第2、一般質問を行います。

昨日に引き続き、通告順に発言を許します。

阿部裕和議員。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

阿部議員。〔13番 阿部裕和君登壇〕

○13番（阿部裕和君）

おはようございます。みらい創造クラブ、阿部裕和でございます。

発言通告書に基づき、1回目の質問をいたします。

1、青海シーサイドパーク再編整備方針と戦略的拠点化について。

- (1) ふわふわドームを駅北に設置する場合、立地条件において、駐車場規模や周辺動線、滞在性、広域的集客効果などをどのように分析しているのか。大型遊具整備による定住促進や交流人口拡大、経済において、どのような効果が見込まれると評価しているのか伺います。
- (2) ふわふわドームは近隣自治体においても高い集客力を有し、子育て世代のみならず、祖父母世代や市外来訪者の利用にもつながっている事例があります。当市においても、立地条件や周辺施設との相乗効果を踏まえ、駅北に限定せず、適地を改めて検討すべきと考えますが、市の見解を伺います。
- (3) パターゴルフ場の利用が低迷している現状ですが、今後も現行のまま運営を継続していくのか。また、利用状況が改善しない場合の見直しや用途転換に関して検討する考えはあるのか伺います。
- (4) ドームなぎさについては、休憩施設としての利用にとどまらず、イベントや観光活用の拡充を図るべきと考えますが、市として県に対し、具体的な利活用提案や規約見直しの協議を行った経過はあるのか。また、その考えはあるか伺います。
- (5) オートキャンプ場については、市外からの利用も多いと認識していますが、現在の稼働状況をどのように評価しているのか。また、区画の増設や機能強化を検討する考えはあるのか伺います。
- (6) 須沢海岸への石の見学ツアーや大型バスでの来訪が増加している状況を踏まえ、大型バス対応の駐車スペース確保など、観光受入体制の強化を図る考えはあるか伺います。
- (7) 青海シーサイドパークは、須沢臨海公園やオートキャンプ場、ドームなぎさ、スケートボードパークなど様々な機能が集積した、当市を代表する公園であると考えます。また、須沢海岸ではヒスイ探しや石の見学ツアーなど来訪者が増加しており、観光面での可能性も高まっています。その一方で、管理棟の老朽化や駐車場の不足、パターゴルフ場の利用低迷など、再整備を要する課題も顕在化しています。これらを踏まえ、青海シーサイドパークを当市の観光及び子育ての戦略拠点として位置づけ、令和8年度中にエリア全体の再整備計画を策定

し、令和9年度予算に具体的な整備費を反映させる考えはあるか、市長の見解を伺います。

2、書かないワンストップ窓口及び出生ワンストップ窓口設置に向けた取組について。

(1) 書かない窓口や手続のワンストップ化について、市民の利便性向上と職員の業務負担軽減、業務の効率化の観点から、市としてどのような位置づけで検討しているのか伺います。

(2) 窓口BPRアドバイザー派遣事業の中で実施した窓口体験調査において課題が示されましたが、その後、課題解決に向けて具体的にどのような取組を行ってきたのか伺います。

(3) 市民の利便性向上及び職員の業務負担軽減という課題の解決に向け、書かないワンストップ窓口の設置について、これまでどのような検討を行い、現時点でどの段階にあるのか伺います。

(4) 出生に関する各種手続については、市民にとって負担が大きい分野であると同時に、複数の課にまたがる業務であります。市としてこの分野の窓口の在り方をどのように整理されているのか伺います。

(5) 今回予定されている組織再編により、窓口業務の体制や役割分担はどのように変化し、市民サービスの向上及び業務効率化にどのようにつながると考えているのか伺います。

3、翠ペイの普及促進と今後の方向性について。

(1) 翠ペイ運用開始からの各年度ごとの年間利用総額（チャージ金額及びポイント発行分）の推移を伺います。

(2) 加盟店及び利用者増加に向けた今後の取組を伺います。

(3) 加盟店が負担する換金手数料2%について、加盟店拡大との関係をどのように認識しているのか伺います。

(4) 若者をターゲットにした音声メッセージの取組や利用者間送金の機能拡張について、これまでの検討状況と今後の実施に向けた進捗状況を伺います。

(5) 先般の物価高騰対策では現金給付が選択され、翠ペイについては活用されませんでした。現金給付を否定するものではありませんが、今後、翠ペイをどのような位置づけで運用していく考えなのか。また、市内経済の好循環を生み出すために、どの程度の本気度で取り組んでいくのか、市の方向性を伺います。

以上、1回目の質問でございます。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

久保田市長。〔市長 久保田郁夫君登壇〕

○市長（久保田郁夫君）

おはようございます。

阿部議員のご質問にお答えさせていただきたいと思っております。

1番目の1点目の飛び跳ね遊具の分析と大型遊具整備への評価につきましては、7年10月の利用者アンケートでは、砂、水、土などの自然遊びに次いで、飛び跳ね遊具やアスレチックへのニーズが確認されております。大型遊具単体の効果を定量的に示すことは難しいものの、滞在機会や回遊性の向上などを通じ、様々な効果につながる可能性があるものと考えております。

2点目の飛び跳ね遊具の適地につきましては、12月市議会で、雨による滑りやすさなどの安全

面の課題や、屋外設置では利用時期が限定されることから、費用対効果に課題があるところのご指摘をいただいております。このため、全天候型子供遊戯場内に子供が飛び跳ねて遊べるエア遊具を整備することで、安全性を確保しながら、年間を通して利用可能とすることを検討してまいります。

3点目のパターゴルフ場につきましては、現在地元の皆様を中心に活用方法が検討されておりますので、それらの意見も伺いながら検討してまいります。

4点目のドームなぎさにつきましては、健康づくりやおうみ祭りでのイベント等で活用されております。過去にはその利用方法について県と協議し、人工芝を張った経過があります。

5点目のオートキャンプ場の稼働状況につきましては、7年度の稼働率が31.7%となっており、オートキャンプ白書2024で記載されている全国平均の19.6%と比較し、良好な状況となっております。

区画の増設につきましては、現在の敷地利用状況から難しいと考えております。

6点目と7点目の駐車場を含めた再整備計画の策定等につきましては、本公園が整備された経緯を十分に踏まえる必要があるとともに、市内全域の公園の在り方について、将来的な検討がなされた後に策定すべきものと考えております。

2番目の1点目の書かない窓口及びワンストップ窓口に向けた取組につきましては、市のDX推進計画において、暮らしのデジタル化、行政事務のデジタル化事業の一つに位置づけて検討しております。

2点目の窓口BPRアドバイザー派遣事業につきましては、課題となった申請書の見直しや、お悔やみガイドの作成等を行うとともに、産後ケア事業等、オンライン申請の拡充に取り組んでまいりました。

3点目の書かない窓口など、業務のデジタル化につきましては、その実施に当たり、国が進める自治体情報システムの標準化作業が必須であります。当市では9年1月に住民記録などの基幹システムが、国標準のシステムへ移行予定であることから、9年度の導入を目指して検討を進めてまいります。

また、ワンストップ窓口については、環境整備の課題もあり、引き続き、検討してまいります。

4点目の出生に関わる各種手続につきましては、オンライン申請による負担軽減を図りたいと考えており、国では、全国統一した出生届のオンライン化を目指していることから、実施に向け情報収集を行ってまいります。

また、来庁による手続の場合には、出産後の負担を考慮し、寄り添った対応となるよう心がけてまいります。

5点目の組織再編がもたらす変化につきましては、今回の再編は、市民にとって分かりやすい窓口となるよう行ったもので、手続に来られる市民の負担軽減や事務ミス防止などの効果につながるものと考えております。

3番目の1点目の年間利用総額につきましては、5年度が2,274万円、6年度が7,424万円、7年度は1月末現在で1億5,998万円であります。

2点目の今後の取組につきましては、行政ポイントの普及や翠ペイならではのサービス機能の導入など、地域通貨の強みを生かした取組を進めてまいります。

3点目の換金手数料と加盟店拡大との関係につきましては、他のキャッシュレス決済サービスよ

り手数料が低額なことから、手数料が加盟店拡大に影響しているのではなく、各企業や事業所の方針であると認識しております。

4点目の新たなサービスの検討状況につきましては、決済音の音声メッセージの募集を1月から開始し、現在は、私の声になっております。引き続き、若い方からも応募いただけるよう、周知してまいります。

また、利用者間送金の機能については、現行の運営体制では利用できないルールとなっております。

5点目の今後の翠ペイの位置づけにつきましては、利用額は着実に増加傾向にあり、今後も地域内循環の推進に向けて、サービスの向上による利用者と加盟店の満足度を上げ、地域に有益な機能となるような取組を進めてまいります。

以上、ご質問にお答えいたしました。再度のご質問によりましては所管の部・課長からの答弁もございますので、よろしくお願い申し上げます。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

阿部議員。

○13番（阿部裕和君）

1点目の青海シーサイドパーク再整備計画からお聞きいたします。

子育て環境の充実、それに伴う青海シーサイドパークの再編に関しては、今までも取り上げてまいりました。その中でも、申し上げてまいりましたが、当市において核となり得る公園というのは3か所あると思っています。道の駅マリンドリーム能生の公園、こちらは観光拠点としての性格が強い。美山公園、こちらは自然環境に恵まれる一方、熊等の安全面の課題が常にある。須沢臨海公園、こちらは既に市内の子育て世代が多く利用している。加えて、ヒスイ探しや釣り、オートキャンプ場利用など、市外からの来訪も一定数あるものの、市内消費につながっているとは言えない現状があります。子育て環境の充実は、市民の暮らしの質を高める投資であると同時に、地域経済にも影響してくるものと考えます。

こうした考えの下、今までの質疑の経過を踏まえて、今回質問いたしますので、よろしくお願いいたします。

まず、ふわふわドームについて、今ほどのご回答ですと、屋内遊戯場のほうにエア遊具として設置するという話がありましたが、エア遊具の設置をもって市内の公園に、要はふわふわドームを設置するというのは、もうなくなったのでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

室橋こども課長。〔こども課長 室橋淳次君登壇〕

○こども課長（室橋淳次君）

おはようございます。

お答えいたします。

駅北の遊び広場のところでですね、これまで議会のほうに飛び跳ね遊具ということで素案の中でご提示をさせていただきました。先ほど市長答弁にもございましたように、議会のほうからもそう

いった安全性の面ですとかのご指摘をいただいたといったことを踏まえまして、今回そちらにつきましては、屋内遊戯場のほうで整備する方向で検討を進めてまいりたいというものでございます。

それ以外の部分で、そういった飛び跳ね遊具的なものを設置するかどうかといったところについては、個々の、ケース・バイ・ケースによるものかなというふうには思っております。

以上です。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

阿部議員。

○13番（阿部裕和君）

私の認識ですと、このふわふわドームというのは、広場であったり公園の象徴的なものになり得ると思いますし、それに伴う滞在時間、利用者の滞在時間の延伸といった機能も備わっているものと思います。

また、屋内のエア遊具とはちょっと性質が異なるものなんじゃないかなというふうに思っていますので、改めて、市として、市内公園、核となる公園に対して設置するという方向性はないんでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

長崎建設課長。〔建設課長 長崎英昭君登壇〕

○建設課長（長崎英昭君）

おはようございます。

お答えいたします。

今ほど議員からお話ありましたとおり、市内にはですね、核となる公園ということで能生の海洋公園、あと美山公園、青海の須沢臨海公園の3つが核となるということで承知しております。

今ほどお話ありました、ふわふわドームにつきましては、過去にも何回か阿部議員からもご提案ありまして質問を受けたんですけども、やはり公園全体ですね、今後、様々な見直しが必要かと思えます。その中で、核となる公園の位置づけをどうするかということで検討のほうが必要かと思えます。

我々としましても、青海臨海公園につきましては、質問された後に庁内でもいろいろ打合せをして検討のほうを進めてるんですけども、現状どうするかという観点に関しましては、ふわふわドームとは、どんな遊具が必要かを含めて、当然地元の意見等も必要になってくるかと思えますので、そういった部分を含めて、今後、検討のほうをしてまいりたいと考えております。

以上です。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

阿部議員。

○13番（阿部裕和君）

私も何ていうんでしょうかね、縮充の考え方なんでしょうか、やっぱり市内の公園を1個満足度を高めるものを造って行って、点在する今77か所公園あると思うんですよね。これについても集

約していく必要があるんじゃないかという話を、もう1年以上前にしています。今の答弁ですと、これからこれからというのがずっと、今までずっと続いてきてるんですね。いつなんですか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

長崎建設課長。〔建設課長 長崎英昭君登壇〕

○建設課長（長崎英昭君）

お答えいたします。

以前からこういうご質問を受けているということでは承知をしておるんですけども、やはり今後、公園の見直しといいますか、集約のほうは重要かと思っておりますので、ちょっと今の段階でいつとは言えませんが、できるだけ早いうちにですね、方向性を決めたいと思います。

以上です。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

阿部議員。

○13番（阿部裕和君）

ぜひとも地域に入って行って、地域の大切な場所というふうに捉えている方も多いかと思いますので慎重に、また、ちゅうちょなく進めて行っていただければと思います。

続きまして、糸魚川のやっぱり暮らしの満足度を高めるという点では、この公園を1個しっかり、しっかりした公園というんでしょうか、満足度が上がる公園を整備するというのは、当市にとって重要な事柄だというふうに捉えております。

以前、井川副市長からも、この青海シーサイドパークの臨海公園については、エリア全体を見直し、市民のみならず市外の方にも親しまれる公園整備を進めていくという答弁をいただいております。

駅北での設置が実現しないのであれば、やはり次の候補地を具体化していかなければいけないというふうに思います。

また、須沢臨海公園は、先ほどから申し上げてますとおり、いろんな機能が集約されている、集積されているところでございます。そういった考えの下、子育ての拠点としてポテンシャルが最もあるんじゃないかなというふうに思っておりますので、そこで、伺います。

須沢臨海公園をふわふわドーム設置の有力候補地として位置づけ、設置に向けて具体的に検討していくお考えがないか、市長、伺います。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

久保田市長。〔市長 久保田郁夫君登壇〕

○市長（久保田郁夫君）

お答えします。

まず、満足度という表現が出ておりました。今、市内には3か所、満足度を向上するための拠点がある。その部分において言えば、それぞれまたその満足度を高める課題というものもありまして、その条件整備に係る部分には、事業費だとか、またそういうものもありますし、いろんな部分の検

討をしながら、やっぱり適地についてどうするのかという部分をまず、しっかりと見定めながらしなければいけないと思います。それぞれの、3か所についてはいろんな要望がある中で、それを取捨選択していくという作業もありますので、基本的には令和8年度中にいろんな方向性を見いだすように担当課を含めて検討を、前進させていきたいと思っておりますので、その辺のところをまた、いろんな皆さんからのいろんな検討事項、また市民の声を届けていただければと思っております。

以上です。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

阿部議員。

○13番（阿部裕和君）

前進という言葉いただきましたので、期待しております。よろしくお願いします。

（3）パターゴルフ場について伺います。

様々な取組は行っているものの、利用者が伸び悩んでいる状況であります。現行のまま運営を継続することが合理性があると判断されているのか。あるとすればどういった点を指すのか、市の見解を伺います。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

古市青海事務所次長。〔青海事務所次長 古市 護君登壇〕

○青海事務所次長（古市 護君）

おはようございます。

お答えいたします。

利用者の数が伸び悩んでるというのは否めませんが、開設当初からご利用されている方もいらっしゃいます。まずは、皆様の意見等をお聞きして、これから考えていきたいと考えております。

以上です。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

阿部議員。

○13番（阿部裕和君）

今ほど皆さんの意見聞いていきたいというお話あったんですけど、1年前の答弁だと、抜本的な在り方について検討していくというふうにいただいているんですけど、今までどういった検討があったり、その地域の皆さんにどういうお話を伺ったのか、また、その中でどういった意見があったのかというのがあれば、伺います。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

古市青海事務所次長。〔青海事務所次長 古市 護君登壇〕

○青海事務所次長（古市 護君）

お答えいたします。

地元の皆様を中心となって、活性化協議会というものが発足されたということで伺いました。ま

ずは、そちらの会の意見等を聞くことから始めようということで、事務所内で詰めたところです。それで、昨年の12月にそちらの会の学習会がですね、地元の住民も含めた学習会が開かれましたので、その場に参加させていただきまし、その際に意見のほうも伺っております。

また、今後もそういう学習会を行う予定であるということで伺っておりますので、また、そちらのほうにも参加させていただきたいと思っております。

また、先ほどの12月の学習会のほうでは、現在、使用している利用の仕方について、いろいろお話を伺っておりますので、そちらのほうも参考にしたいと考えております。

以上です。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

阿部議員。

○13番（阿部裕和君）

この、やっぱり公園の在り方というのは、青海事務所だけじゃないと思っております。やっぱり市全体として考えて、青海の公園だからどうのこうのって言うつもり全くないので、糸魚川市の全体を見渡して、ここが適地じゃないかってお話をしてるんで、ぜひそのことを理解していただいて、関係各所一丸となって取り組んでいただきたいですし、そういった会の中の意見というのを皆さんと共有して、進めていただきたいというふうに思っておりますので、よろしく願いいたします。

ドームの活用について伺います。

なぎさドームは、単なる休憩施設にとどめるのではなく、石のまち糸魚川を発信する拠点として活用すべきである。また、イベント開催もしていくべきであるということをお伝えしてきましたが、前回の答弁だと、地元や所有者である県と協議しながら考えるという話だったんですけども、どんな協議があったか伺います。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

古市青海事務所次長。〔青海事務所次長 古市 護君登壇〕

○青海事務所次長（古市 護君）

お答えいたします。

ドームなぎさにおきましては、地区のどんど焼きの開催会場とか、あと、小中学生の遠足で、そちらのほうで昼食を取られたりとか、そういう利用のされ方もされております。

また、隣の親不知びあパークにおいては、びあパークの指定管理者とか、あと、親不知観光ホテル、あと糸魚川市の観光協会が主体となって翡翠まつりというイベントを開催しております。こちらのドームなぎさのほうにおいても、そのような使い方をしていただければよろしいかと、私どもも考えております。

以上です。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

阿部議員。

○13番（阿部裕和君）

やはり市として考えをしっかりとって取り組んでいただきたいと思います。こういうイベントをやればこういう効果があって、市内にこういう波及効果があるというものを持って進めていっていただきたいんですけど、今ほどイベントをやってほしいという考えであるというのは聞いたんですけど、実際にやる動きにあるのかどうか伺います。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

古市青海事務所次長。〔青海事務所次長 古市 護君登壇〕

○青海事務所次長（古市 護君）

お答えいたします。

先ほど主体が観光協会とかと言いましたけれども、青海事務所のほうもそちらの実行委員会のほうに参加させていただいて、イベントのほうを開催しております。

以上です。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

阿部議員。

○13番（阿部裕和君）

それでは今後、ドームなぎさを使って、そこでイベントをやるというふうに理解してよろしいですか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

古市青海事務所次長。〔青海事務所次長 古市 護君登壇〕

○青海事務所次長（古市 護君）

お答えいたします。

市のほうが主体となるというよりも、皆さんと一緒に行動のほうを起こしていきたいと考えております。

以上です。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

猪又産業部長。〔産業部長 猪又悦朗君登壇〕

○産業部長（猪又悦朗君）

補足説明、お話をさせていただきたいと思っております。

ドームなぎさにつきましては、以前から阿部議員のほうからも、その活用策、活性化ということをいろいろとご質問、ご提言をいただいているところであります。私どもとしましては、先ほど言われたように、市の方向性としてしっかり活用していきたいという一つの中でのイベントということで考えております。

先ほど次長のほうからも説明がありましたように、協議会が立ち上がったというところがございます。そういった会を、この機会を通じて、さらなる活用の促進策や、また、要望・意見等々含めてしっかりとお話を聞きながら、受け止めながら、県ともまた相談をしながらということになりま

すけども、進めさせていただきたいというふうに考えております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

阿部議員。

○13番（阿部裕和君）

オートキャンプ場について伺います。

繁忙期には予約が取れない状況が発生していると思うんですけれども、その際の予約不成立の件数やキャンセル待ちの件数について、市は把握されているか伺います。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

古市青海事務所次長。〔青海事務所次長 古市 護君登壇〕

○青海事務所次長（古市 護君）

お答えいたします。

オートキャンプ場の予約につきましては、そのほとんどがネットでの予約申込みとなっております。ネットでの予約申込みなものですから、キャンセル、実際に予約できなかったという件数については把握できておりません。

以上です。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

阿部議員。

○13番（阿部裕和君）

先ほど19%という数字があって、それに比べて良好だという数字があったんですけど、青海シーサイドパークのキャンプ場、オートキャンプ場については何%なんですか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

古市青海事務所次長。〔青海事務所次長 古市 護君登壇〕

○青海事務所次長（古市 護君）

お答えいたします。

先ほどの市長答弁でもありましたように、31.7%となっております。

以上です。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

阿部議員。

○13番（阿部裕和君）

すいません、聞き逃していたようです。ごめんなさい。

その31%という数字も、要は全体、稼働している全体の平均で31%で、やっぱりゴールデンウイークであったり夏であったりというのは、私も実際、予約しようとしたとき、もう満タンで取れないという状況があって、要は需要超過ですよね、それに対して、要は当市に来訪するという機

会が失われていることに対して、どう受け止めているか伺います。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

古市青海事務所次長。〔青海事務所次長 古市 護君登壇〕

○青海事務所次長（古市 護君）

お答えいたします。

このオートキャンプ場には、目の前が日本海、親子が遊べる公園もすぐ近くにありますので、より多くの方から当市の魅力を体験していただきたいと考えております。

以上です。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

阿部議員。

○13番（阿部裕和君）

先ほどオートキャンプ場の区画の増設は難しいというふうにおっしゃっていたんですけど、私の目線で言いますと、県の所有の土地ではあるんですけど拡張できる場所はあるんじゃないかなと思ってます。この電源等の大規模修繕というか大規模な整備を伴わないものであれば、経費というのも大分落とせますし、要は、もう既に予約超過が発生しているものですよね。その事業に対して、限定的な投資で受入枠を拡大できる。そして、その費用対効果も高い。様々な分野への波及効果もあるという現状は、投資すべき点かなと思うんですけど、何をもって区画整理が難しいとおっしゃっているのか伺います。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

古市青海事務所次長。〔青海事務所次長 古市 護君登壇〕

○青海事務所次長（古市 護君）

お答えいたします。

議員もおっしゃるとおり、青海シーサイドパークは県の所有地であります。

したがって、県の所有地を造成するという工事になりますので、県とももちろん協議は必要になってきますし、その費用は、じゃ、誰が出すのかということもありますので、現状では難しいと考えております。

以上です。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

井川副市長。〔副市長 井川賢一君登壇〕

○副市長（井川賢一君）

おはようございます

お答えいたします。

オートキャンプ場の利用者につきましては、青海事務所のほうからリピーターの方が多いというふうにお聞きしています。そういった方が、いい時期をあらかじめインターネットで押さえてしま

って、実際の利用につながらないという事例もあるというふうに聞いておりますので、そういったところをまず、キャンセル対応をまずしっかり取るような措置をしたいというふうに思っています。

また、オートキャンプ場の増設、確かに私有地では難しいんですけども、県との協議も場合によっては必要ではないかなというふうに考えています。その前段として、やはり整備費だとか管理費、それに対する収入の在り方とか、そういったものもやっぱり総合的に検討する必要があるというふうに思っています。

また、実際にそこでの収支だけでなく、来られた方、はびねすの入浴を利用されるとか、また市内でどの程度の消費をされているとか、そういった情報を今掴んでない状況でございますので、そういったものを把握する中で、投資効果があるようでしたら、しっかり増設についても検討してまいりたいと思います。

以上です。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

阿部議員。

○13番（阿部裕和君）

副市長、ありがとうございます。

このオートキャンプ場なんですけど、私の友人が市外にいるんですけども、その友人も大好きなオートキャンプ場だというふうに話聞いてます。その友人、全国各地いろんなキャンプ場を回っていて、あそこはもったいないということを常々言ってます。そうなると、やっぱりキャンプのプロというか大好きな人からも、あそこをもっとこうすればいいんじゃないか、ああすればいいんじゃないかという話を聞くと、要は、愛好家目線からもやりようはあるのかなと。私は地元ですけども、地元目線からもやりようがあるな、利用者側からもやりようがあるなって思われている場所であれば、さらに掘り下げていく必要があるんじゃないかなというふうに思っていますので、久保田市長も、まずできないことを並べるんじゃなくて、どうやったらやれるかというところは私も同じ思いで市政を動かしていきたいと思っておりますので、どうかよろしく願いいたします。

次に、大型バスなんですけれども、大型バス来て、ありがたいんですけど、路上駐車が多いというふうに聞いてます。これ、いかがでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

古市青海事務所次長。〔青海事務所次長 古市 護君登壇〕

○青海事務所次長（古市 護君）

お答えいたします。

私のほうには、大型バスが路上駐車するというのは、あまり情報としては入ってきていない状態です。

ただし、運送会社の車等が、市道に車を止めて一晩過ごしてみたりという話は伺ったこともあります。

以上です。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

阿部議員。

○13番（阿部裕和君）

実際に、私のところには来ていて、その拡張に向けてどうお考えですかと聞いてます。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

古市青海事務所次長。〔青海事務所次長 古市 護君登壇〕

○青海事務所次長（古市 護君）

お答えいたします。

大型バスの駐車場についての問合せについては、事務所のほうにも年に一、二件入っております。その際、事務所のほうでも県の駐車場がありますので、そちらで区画を確保したりという対応は取らせていただいたこともあります。

ただ、年に一、二件という件数だったものですから、今のところそういう大型バスが駐車できるような駐車スペースの確保というのは、今のところ考えておりません。

以上です。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

猪又産業部長。〔産業部長 猪又悦朗君登壇〕

○産業部長（猪又悦朗君）

補足でお話をさせていただきたいと思います。

まずもって、まず、現状把握が必要だということで考えております。その中で、大型バス等々ございますけども、看板誘導などによって、あの周辺の駐車場等々が多くありますので、そちらを有効的に活用できるように考えなければいけないというふうに思っております。県の施設に係るところもございますので、そういったところを含めて、現在の既存の駐車場をしっかりとフル活用できるような体制を検討してまいりたいというふうに考えております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

阿部議員。

○13番（阿部裕和君）

ありがとうございます。（7）に移ります。

スケートボードパークの話をしよと思ったんです。昨日の一般質問で少しお話があったんですけど、この件については要望いただいている、スケートボードパークの照明という1個課題と、その隣接する道路の照明が切れているという2点がありました。これについて、スケートボードパークに外灯設置するってお話あったんですけど、5本か6本、外灯あったと思うんですけど、どういふふうな整備になるのか。スケートボードパーク、道路、両方カバーできるような照明器具の設置になるのか伺います。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

古市青海事務所次長。〔青海事務所次長 古市 護君登壇〕

○青海事務所次長（古市 護君）

お答えいたします。

10日ほど前ですけれども、県のほうとお話しさせていただきました。その際に、県のほうでは道路側とスケートボード場側を両方照らすような2灯式の頭部の照明灯を5基設置するというので、お話を伺っております。

以上です。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

阿部議員。

○13番（阿部裕和君）

この設置は、中高生から要望があった件です。9月頃にいただきました。10月のキャリアフェスティバルでも中学生が、市長に直接要望されてたかと思います。この件は今までも要望してたんですけど、ずっとかなわなかった要望でした。久保田市長のほうから動いていただいて、実際には県の事業になると思うんですけども、本当に迅速にご対応いただきまして、ありがとうございます。この、要は修繕が完了したことも大きいんですけど、こういった中学生、高校生の思いが、実際に形になったというのは、それ以上の効果、影響があると思っております。感謝申し上げます。ありがとうございました。

次に移ります。

青海シーサイドパークを構成する各施設、機能について、今まで個別の事案ごとに現状の課題・問題点を上げ、将来を見据えた課題解決の方向性と具体的な改善提案を申し上げてまいりました。これらは断片的な課題ではなく、青海シーサイドパークという一つのエリアの将来像に直結する問題であります。特にこれからを担う若者世代、子育て世代がここで暮らしていみたい、暮らしていてよかったと思わせる環境をどうつくるのか。外から人を呼び込み、地域経済をいかに循環させるか。青海シーサイドパークは、その象徴となり得る場所であると考えます。場当たりの改修ではなく、将来を見据えた戦略的な投資として、エリア全体の再整備を明確に打ち出すべきに来ているのではないのでしょうか。市長も実際に現場を見られたと思います。市長、いかがお考えですか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

久保田市長。〔市長 久保田郁夫君登壇〕

○市長（久保田郁夫君）

お答えします。

実際に私もいろんな方々からお話を聞いて、青海だけではなくて能生、そして親不知、それに限らず市のいろんな観光だとか、交流だとかという拠点をつぶさに見て回りました。1年間、できるだけ見て回るようにしました。

そういう中においてやっぱり今、阿部議員がおっしゃるように、長期的にこれから若者たち、もしくは今の子供たちが10年、20年先にどうやって使っていくのか、その子供たちが今度、親になったときにどうやってそれを引き継いでいくのかという部分も含めて考える要素も一つ。

それと、喫緊にやはり糸魚川の課題をしっかりと整備することによって、現在、要するに後れを取ってはならない整備、例えば能生で言えば、やっぱり駐車場の問題だとか、それを解消しないと、せつかくの今の部分が逃げてしまうことにつながってくる。そういうことも含めながら、短期、中期、長期というスパンの中に入れて、そういう整備計画を打ち出していく。私、先ほど申しましたように、8年度中にはそういう部分を短期、中期、長期、しっかりと定めながら、できる限り前進できる要素を探りながら進めていかなきゃいけないと思っています。ぜひそういう部分においては、行政の一方的な話ではなくて、ぜひ協働という形で進めさせていただければと思っています。

また、納得解というのは、100%納得したから解ではなくて、やっぱり最低限51対49という一つのベースがあって初めて動き出すものとの考えもあります。そういう中において、納得解を見つけ出していくというものを、できるだけ納得解に近づけるように努力させていただきたいという部分で考えております。今、納得解を出すのは非常に難しい部分でありますけども、できる限り1年間かけて、そういう部分、令和9年度以降の事業費等に含めて考えていきたいと思っています。

以上でございます。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

阿部議員。

○13番（阿部裕和君）

すいません。全体的には理解したんですけど、51対49のくだりがちょっと納得できなかった、すいません、理解できなかったんですけど、詳しく。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

久保田市長。〔市長 久保田郁夫君登壇〕

○市長（久保田郁夫君）

お答えします。申し訳ありません。

100というスケールを準備したときに、51が前のほうに進める要素があるとしたら、51に対してやっぱり意を酌んでいかなきゃいけないという部分の、スケール部分で51対49という割合の話にしたということで、スケールの問題として考えていただければと思います。申し訳ございません。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

阿部議員。

○13番（阿部裕和君）

申し訳ありませんでした。ありがとうございます。

今のお話、理解いたしました。スピード感持ってやっていただきたいと思います。本当に公園全体の話にもつながりますし、それが、要は選択と集中の話にもつながると思いますので、どうかよろしく願いいたします。

次に、書かないワンストップ窓口について伺います。

これまでも質問してまいりましたが、本日はDX全般ではなく、窓口業務そのものに焦点を当てて質問いたしたいと思います。

窓口体験調査というものがありませんでしたが、その後の課題、調査後、課題が提示されたんですね。その課題というのが、6人家族の転入手続を行った際、申請書等が20枚に及び、名前を書いたのは47回、住所は21回、生年月日は33回と同じ情報を何度も記入する結果となった。これを改善することが最大の課題であるというふうに認識が示されましたが、あれから1年以上経過しております。具体的に、転入手続における記入回数の削減はできているのか、これまでの取組を伺います。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

小竹市民課長。〔市民課長 小竹貴志君登壇〕

○市民課長（小竹貴志君）

お答えします。

今、転入の関係でということでご質問であったんですが、転入に関していいますと、まだ業務の改善というところは、限定的になっております。氏名、住所など同じ情報を何度も記入するところが課題だったんですけど、そのほかの業務といたしましてマイナンバー関連でも、同じように何度も住所、氏名を書くということが発生しております。その関連でいいますと、申請書作成支援システムというのを導入いたしまして、マイナンバーカードや運転免許証を預かって、それを職員のほうで機械に入れて、そうしますと紙の申請書に住所とか名前が印字されるというシステムなんですけど、それを導入させてもらいました。そのことによって、今まで氏名などを記入する回数を、マイナンバー関連ではあるんですが、10回程度減らすことができました。引き続き、ほかの業務についてもそういうことができるか研究してまいりたいと思います。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

阿部議員。

○13番（阿部裕和君）

やれることから、改善できるところからやるという姿勢はとてもいいと思うんですけども、その課題認識から、転入に関しては課題認識から1年以上が経過している中で改善が進んでいないというのであれば、何が原因だというふうに分析しているのか伺います。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

小竹市民課長。〔市民課長 小竹貴志君登壇〕

○市民課長（小竹貴志君）

お答えします。

改革が進まないといった理由なんですけど、手続、転入等の手続で一番大切なのは、本人確認をきちっとやるということだというふうに思っております。現在のやり方ではどうしても本人確認、そういう部分を、それぞれの部署で行う形となっております。そういったものを抜本的に改革していくためには、やっぱりシステムというものを導入することを行わないと、効率性ですとか安全性

とかそういうものが保たれないというふうに考えております。改革を進めていくためには、やっぱりシステム導入というものが必要になってくるというふうに認識しております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

阿部議員。

○13番（阿部裕和君）

自治体システムの標準化についてなんですけど、当初、令和7年度末を原則としていたと思うんですけど、先ほどの答弁ですと、令和9年度ってお話あったんですけど、9年でしたっけね、9年度という話あったんですけど、そこを具体的に伺います。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

磯貝総務課長。〔総務課長 磯貝恭子君登壇〕

○総務課長（磯貝恭子君）

お答えいたします。

標準化の作業を国で一斉に行っているもので、事業者の逼迫や、あるいはトラブルの回避などにより、国のほうでは支援を5年間延期するとされています。当市につきましては、令和9年1月、今、一部のシステムは既に移行しているものもありますけれども、令和9年1月にシステムの導入を予定しております。

以上です。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

阿部議員。

○13番（阿部裕和君）

以前のご答弁では書かない窓口の、ワンストップ窓口の設置は、この標準化が終わってからというお話あったんですけど、先ほど令和9年という期間が出ましたけど、改めてこの標準化完了後、1月以降に書かないワンストップ窓口は設置されるのか伺います。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

磯貝総務課長。〔総務課長 磯貝恭子君登壇〕

○総務課長（磯貝恭子君）

お答えします。

書かない窓口、それにも新しいシステムが必要になります。その導入には、やはり標準化されたシステムが基礎となります。令和9年度以降というスケジュールにはなりますけれども、予算要求ということも考えれば、もう早めに情報収集はして、どのようなシステムがいいかという研究は進めていかなければいけないと考えております。

以上です。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

阿部議員。

○13番（阿部裕和君）

9年以降ってなると、令和20年とかの話でもね、されると思うんですけども、ぜひとも今スピード感を持って早めというお話あったんで、これ人材確保にもつながってくる。要は、人材が今後いなくなってくる中でちゃんと業務の効率化をやって、デジタル化をして集約して簡潔にという、間違わずにということも兼ね備えているシステムだと思いますので、ぜひとも検討をよろしくお願いいたします。

4の出生ワンストップ窓口についてなんですけれども、昨年質問の中では、子供が過ごせるスペースの確保が課題というふうに上げられ、既に課題は明確になっていたと思います。その後に、令和8年度から課の再編、組織再編が行われるということになりましたが、スペース確保の課題についてはどのような議論があったのか。

また、課題解決に向け、組織再編後は、出生ワンストップ窓口の設置を見込んでいるのか伺います。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

磯貝総務課長。〔総務課長 磯貝恭子君登壇〕

○総務課長（磯貝恭子君）

お答えします。

スペースの課題につきましては、建物の造り上、やはり課題があります。それで、今回の組織の再編については、市民の方が分かりやすい窓口ということを中心に心がけたつもりで再編はしております。

ただ、行政サービスは、やはり多岐にわたり、特に専門性の高い相談等はその課でなければ対応できないという部分もありまして、今回の再編で全てワンストップになるかというところは、難しいところはございます。

以上です。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

阿部議員。

○13番（阿部裕和君）

ワンストップ窓口の設置って、将来、今考えてるという中で、全て1階で済む想定だと思うんですけど、まず、そこいかがですか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

小竹市民課長。〔市民課長 小竹貴志君登壇〕

○市民課長（小竹貴志君）

お答えします。

やっぱり手続の関係は、やはり1階の窓口というところが市民にとって一番分かりやすいと思いますので、ワンストップ窓口を基本的に設置するとなれば、1階で行うのがふさわしいというふうに考えております。

以上です。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

阿部議員。

○13番（阿部裕和君）

そうなるとちょっと矛盾点があって、今後、ワンストップ窓口の設置について一生懸命やりますという中で、でも今ほどの答弁だと、1階にスペース確保は難しいという話があるんですよ。今後、本当に書かないワンストップ窓口を設置していくというふうに本気で取り組んでいくのであれば、この市役所1階に子供が少し過ごせるスペースというのを確保するのは必須条件だと思うんですけど、いかがお考えですか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

室橋こども課長。〔こども課長 室橋淳次君登壇〕

○こども課長（室橋淳次君）

お答えをいたします。

以前の答弁の中で、出生の手續に関しましても、こども課のほうでも大体やっぱり30分ぐらいの手續時間がかかっております。そういった中で、例えば一緒に連れてきたお子さん、そういったお子さんの居場所というところで、今、2階のこども課の前のところについてはお子さんが遊べるような場所も設置しておりますけれども、例えば先ほど来ご質問いただいているような、書かない窓口、そういったところで事務手續の時間が短縮をすることができれば、そういったお子さんの遊び場所といったところも、それほど必要性は高くなってくるのではないかなというところも一つ考えられます。

また一方で、こども家庭センターのほうには、国の基準といいますか条件といいますかといったところで、こども家庭センターの場所には、子供の遊ぶ場所と相談室を設けるといったところが一つの基準としてでございますので、こども課の場所にはそういった遊び場と相談室は設けていきたいというふうには思っておりますけれども、書かないワンストップ窓口の一本化という中では、1階に必ずそういった遊び場を設置する必要というのは、また考えていくところかなというふうには思っております。

以上です。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

阿部議員。

○13番（阿部裕和君）

理解しました。ありがとうございます。

今回の組織再編というのは、再編後、どういった窓口に変化がある再編だったか伺います。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

磯貝総務課長。〔総務課長 磯貝恭子君登壇〕

○総務課長（磯貝恭子君）

お答えします。

今回の組織の再編については幾つか目的がございますが、先ほどお伝えしているように、市民が分かりやすく手続できるようにということで、例えば税、今、市民課の中にあるものを税を特化したものに分けて新しい課をすとか、あるいは健康増進課で持っている国保の税の担当を税務のほうに寄せたというふうにして、分かりやすくなるように心がけておるものです。

以上です。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

阿部議員。

○13番（阿部裕和君）

市長に伺います。

課題は明確になっていて、組織再編も行われて、標準化も9年度、9年に終わるとなったときに、市民であったり職員の業務改善で変わったなって実感できるのはいつなのか。まず、出生ワンストップ窓口の設置が私は先なんじゃないかなというふうに思っているところと、次に書かないワンストップの順番になるんじゃないかなというふうに思っているんですけども、この特に書かないワンストップ窓口というのは、本当に業務改善と市民サービスの両面を持っています。ぜひとも力強く推し進めていただきたいと思いますが、市長の設置までのスケジュール感についても伺います。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

久保田市長。〔市長 久保田郁夫君登壇〕

○市長（久保田郁夫君）

お答えします。

新潟県の令和8年度の予算の中にDX推進事業というのがありまして、各市町村にDX推進の支援をするというのがつきました。

ただ、ついたのはいいんですけども、3年間というやっぱりスパンになるんですね。それを糸魚川市としては9年度から何とか実施しようという部分で、努力させていただいてるという部分で、できるだけスピード感を持ってやるには、1年、いろんな部分の状況を把握しながらやっていかなきゃいけない時間も含めて令和8年度中には検討して、令和9年から速やかにその移行体制ができるように努力していくという部分が、現在の窓口業務、そして行政再編に向けて対応すべき点ということで考えさせていただきました。

また、今まで縦割りの業務ではなくて横断的な業務ができるように、市民からの相談があったときには、できるだけ一つの、何ていいますか流れで対応できるように、地域協働課だとかそういう部分も含めて横断的な業務に耐えられるようにしていくということが、今回再編で考えましたので、そういう部分においては、できるだけスピード感を持って市民の皆様に対応できるように努力をさせていただきたいと思っています。

以上です。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

阿部議員。

○13番（阿部裕和君）

ありがとうございます。

翠ペイについて伺います。

今ほど数字出ましたが、チャージ金額のみなんですか。ポイント発行分は幾らだったか伺います。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

山崎商工観光課長。〔商工観光課長 山崎和俊君登壇〕

○商工観光課長（山崎和俊君）

市長答弁いたしました数字は、マネーのチャージとポイントの付与の合計額でございます。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

阿部議員。

○13番（阿部裕和君）

それぞれ伺います。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

山崎商工観光課長。〔商工観光課長 山崎和俊君登壇〕

○商工観光課長（山崎和俊君）

令和5年度のチャージされたマネーが1,930万円、約で申し上げます。1,930万円、ポイントが344万円。令和6年度が、チャージされたマネーが5,300万円、ポイントが2,110万円。令和7年度については、令和8年1月末現在までで、チャージされたマネーが1億飛び412万円、ポイントが5,580万円となっております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

阿部議員。

○13番（阿部裕和君）

ちょっと増加しているところあるんですけど、キャンペーンによる一時的増加なのか、日常利用として定着している結果なのか、その点を踏まえて、以下、3点伺います。

利用者約4,000人おられると思うんですけども、キャンペーン以外でのチャージしてる利用者の割合で、昨年12月以降の月ごとのチャージ額、1人当たりの利用額の推移を伺います。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

山崎商工観光課長。〔商工観光課長 山崎和俊君登壇〕

○商工観光課長（山崎和俊君）

すいません、今の3点の数字については、現在手元にそちらの詳細な資料を持っておりませんのでお答えできません。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

阿部議員。

○13番（阿部裕和君）

分かりました。

次に、加盟店及び利用者拡大について伺います。

子育て支援、出産子育て支援として対象者に翠ペイ10万円分のポイントを付与しているところですが、利用者からは子育て用品販売店で利用できず、利便性が低いことを今まで指摘してまいりました。

前回の答弁で、市長から、トップセールスで加盟店と交渉を行うという答弁いただいておりますが、その後の対応を伺います。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

山崎商工観光課長。〔商工観光課長 山崎和俊君登壇〕

○商工観光課長（山崎和俊君）

現在、加盟していただきたい店舗のリストというものを作成しておりまして、実際に、他のトラストバンクのシステム、chiccaのシステムを使用している都市で加盟しており、また、糸魚川市では加盟されていないという、例えばホームセンターですとかドラッグストア、生鮮食料品を扱うドラッグストアですとか家電量販店ですとかがございます。そういったところの実情を視察する予定に今現在しておりまして、その後、トップセールスに向けて動けるかということ動いてまいりたいと考えております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

阿部議員。

○13番（阿部裕和君）

そのリストを作るのは重要だとは思いますが、トップセールスで動いていただくというふうにおっしゃっていただいたんで動いてもらったもんだと思ったんですけど、行ってないということで理解していいですか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

山崎商工観光課長。〔商工観光課長 山崎和俊君登壇〕

○商工観光課長（山崎和俊君）

まだ市長には動いていただいております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

阿部議員。

○13番（阿部裕和君）

この課題は結構大きい問題だと思っておりますので、ぜひとも市長、動いていただきたいと思

ます。どうですか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

久保田市長。〔市長 久保田郁夫君登壇〕

○市長（久保田郁夫君）

お答えします。

私も、プライベートで動けばいいという問題ではないという部分は理解しております。当然、行政課題を持っていくわけですので、しっかりとしたアポイント、そして、どういう状況でお願いしたいのかという部分、担当課からそういうしっかりとした組立てを持って動くということが、やっぱり必要だと思います。

ただ、指をくわえて見ているわけではなくて、やっぱり状況、いろんな店舗にお邪魔させていただいて、翠ペイにおける購買についてどのような状況、品数があるかという部分は、つぶさに見ながら、その最終的には担当課からしっかりとした計画を持って、いわゆる交渉、要望しに行くという部分については、私の見地も含めて、セールスに伺っていきたいというふうに考えております。ちょっと時期的に、せっかくの時期を逸したという部分については、否めないと思っておりますけれども、それについては申し訳ないと思っております。

以上です。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

阿部議員。

○13番（阿部裕和君）

市長のすばらしいところは、フットワークの軽さだと思っておりますので、ぜひともよろしく願います。

次に、あれですね、加盟店の換金手数料2%、今まで廃止することは考えてないというお話あって、今ほども加盟、2%が壁には、拡大に壁にはなっていないというふうなご答弁あったと思うんですけど、改めてそのお考えを伺います。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

山崎商工観光課長。〔商工観光課長 山崎和俊君登壇〕

○商工観光課長（山崎和俊君）

市長答弁のとおり、各店舗の方針でありますとか状況による判断、または事業者側がその現金が採用したいという部分で、加入はされないという部分で捉えておまして、換金手数料が2%が高いから入っていないということの事業者数はかなり少ないというふうには考えております。

前回、翠ペイのアンケート結果によりますと、他の電子マネーより手数料が低いというアンケート結果を答えていただいた方も11件ございますので、そういった部分からも2%の妥当性については、今後も周知してまいりたいと考えます。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

阿部議員。

○13番（阿部裕和君）

当初、翠ペイが始まったときの当初は、その店舗拡大のキャンペーンとして、店舗向けのキャンペーンとして換金手数料もゼロ%というのをやってきたと思います。私の感覚からすると、まだ加盟店に対しては普及促進段階であるというふうに思っています。今ほど壁にはなっていないというお話あったんですけど、やっぱり私の感覚としまして、糸魚川市役所の売店が入っていないというのと、2%の手数料があるから入れないという答弁あったんですけど、いかがですか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

山崎商工観光課長。〔商工観光課長 山崎和俊君登壇〕

○商工観光課長（山崎和俊君）

翠ペイの組立てにつきましては、チャージした分に対して1%のプレミアムがつくことになっております。売上げに応じて2%の換金手数料ということで、残りの1%が運営費として残るという形でお捉えいただければ一番分かりやすいと思っております。バランスについては、こちらで現状よいのではないかとこのように捉えておりますので、2%の手数料については、現状どおりで行きたいとか考えます。

また、市役所の売店につきましては12月に阿部議員よりご指摘をいただきまして、これまでも交渉はしておりました。さらに、市の事業に、労働組合といえども賛同していただいております。ただ必要があるということで申し上げまして、執行部のほうで判断をいただき、4月より加盟していただくように準備を進めているというふうに伺っております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

阿部議員。

○13番（阿部裕和君）

ありがとうございます。その姿勢が重要だと思いますので、よろしく願いいたします。

次に、(4)中高生の決済音声の中で、私今まで中高生をターゲットにしてというお話したんですけど、今回、市民全体だったんですけども、その効果、狙っている効果というのは何でしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

山崎商工観光課長。〔商工観光課長 山崎和俊君登壇〕

○商工観光課長（山崎和俊君）

中高生だけという部分でも面白いとは思っておったんですけども、実際に、本当に一番最初には本当に小さな子供さんが音声を録音されたり、今回、久保田市長にも実施していただいております。この後、樋口大悟さんの音声も使用するように録音済みでございます。

狙っているところは、やはり翠ペイの日常使いであったり、楽しさであったり、そういった部分、ただの決済のシステムであったり経済対策のツールではなくて、市民が日常使いできるように、翠ペイに触れていただく機会が多くなるようにということで狙って実施しております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

阿部議員。

○13番（阿部裕和君）

中高生を巻き込むと、その親もというふうな想定でおりましたので、ぜひとも若い世代を巻き込んで、市全体として動いていけばなというふうに思っております。よろしくお願いします。

利用者間送金なんですけど、今ほどルールで駄目だというお話だったんですけど、どういったルールなんでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

山崎商工観光課長。〔商工観光課長 山崎和俊君登壇〕

○商工観光課長（山崎和俊君）

利用者間送金、例えばB to B、C to Cになりますが、資金決済法の規定によりまして、資金移動業という登録が必要ということでありました。今、翠ペイを運営しておりますデジタル地域通貨振興協会には、この登録条件を満たしていないことから、現状では実施することができないという状況でございます。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

阿部議員。

○13番（阿部裕和君）

承知いたしました。

物価高騰対策の話になるんですけど、前回、一般質問の中では、この現金給付が採用された理由として、翠ペイの利用者が約4,000人で少ないからということが上げられました。この4,000人という数字を市はどのように評価しているのか。少ないから給付には適さないという判断だったかとは思いますが、少ないからこそ、給付を通じて利用拡大を図るという考え方もあったかと思えます。独自の地域通貨がある当市において、現金給付の対応をしたことについて、改めて伺います。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

磯貝総務課長。〔総務課長 磯貝恭子君登壇〕

○総務課長（磯貝恭子君）

お答えします。

今回の給付につきましては、地域通貨についても検討はしてまいりましたが、迅速かつ公平に1人1万円を確実に給付したいということで、今回は現金給付といたしました。

以上です。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

阿部議員。

○13番（阿部裕和君）

翠ペイだと、迅速に対応できなかつたのでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

磯貝総務課長。〔総務課長 磯貝恭子君登壇〕

○総務課長（磯貝恭子君）

お答えします。

我々ですと、かなりもう電子通貨には慣れているんですけども、高齢の方とかには、やはりちょっとまだなじみのない方もいらっしゃるだろうというところで、現金といたしたところでございます。

以上です。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

阿部議員。

○13番（阿部裕和君）

分かります。そのことが分かるので、現金給付を否定しているわけではないんですけども、やはり桐生市、以前でもご説明したんですけど、桐生市は、市民全員に5,000円分のポイントを配付して、みんなで使ってくれというふうにやってきました。また、利用者少ないからとかいうのを理由に給付対象じゃなくなったということをするので、翠ペイ、いつまでたっても広がらないんじゃないかなと思います。

今回の給付は、市民約3万7,000人に対して、1人当たり1万円の給付となると、3億7,000万動きます。今ほど1億5,000万という話ありましたが、翠ペイであれば、加盟店でしか使えない。それは確実に市内消費がされるということを意味します。

一方、現金は使い勝手がいい反面、市外の店舗やインターネット購入にも使える。やっぱりどれだけ市内で消費されたかということも正確に把握できないってことを考えていくと、翠ペイは、市内で使われることが担保されて、消費データが取得できる。この2つが利点だったんです。翠ペイを経済政策としているのであれば、この効果の差を市は、どのように評価するのか伺います。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

山崎商工観光課長。〔商工観光課長 山崎和俊君登壇〕

○商工観光課長（山崎和俊君）

阿部議員の翠ペイを普及させるためのというご提言というふうには受け取ります。

今回、現金給付になった食料品の物価高騰に対する特別加算につきましては、生活者支援というところに非常に重きが置かれているもので、制約のある翠ペイ、または他地域では今回用の商品券、地元消費に向けて今回用の紙の商品券を作った自治体もありますが、今回、より利便性の高い現金給付を選択したというものでございます。

今、経済効果という部分につきましては、ご指摘のように、今回、全3億7,000万円が市内消費されたということであれば、それはこれまでにない、今年度の倍ぐらいのケースになりますの

で、現状、まだ加盟店をもう少し増やすこと、または加盟者数もまだ4,500程度でございますので、まだまだ加盟者を増やしていったり、さらに日常使いをするためにいろいろなキャンペーン、または行政ポイントを打っていくという、翠ペイをとにかくなじませていくような活動を続けていく必要があるというふうに捉えております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

阿部議員。

○13番（阿部裕和君）

前提として、もう本当に全市民が使える、特にお年寄り、高齢者ですよ、に使えるような設計、また、スマホ教室であったりというところをやっつけていかなきゃいけないというところと、これ一番重大なんですけど、翠ペイは、市内の経済対策なのか、それとも地域内で使える決済手段の一つと捉えているのか。経済政策であるのであれば、循環率の公表であったり、消費分析、手数料、給付との連動など、攻めの設計が重要だと思います。

改めて、市はどういった位置づけで運用しているのか。また、今後どう運用していくのか。市の考え方を改めて伺います。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

山崎商工観光課長。〔商工観光課長 山崎和俊君登壇〕

○商工観光課長（山崎和俊君）

デジタル地域通貨の目的につきましては、様々なメリットがあるというふうには捉えておりますが、当市におきましては、まず第一に、今ご指摘のように、地域内経済循環への誘導という、ある意味手段のところがあるかと思えます。こちらについては、市外から市内への消費の転換という部分が重きを置かれる部分になりますので、数字的評価としましては、そういった部分にどれだけ取り戻しているかとか、そういった部分では、今後、議員ご指摘のようなデータの収集が必要になるかと思えます。

また、もう一点は、デジタル化による行政コストの削減というところが上げられると思えます。こちら、効率化と迅速化という部分で、我々行政サイドには大きく寄与する部分であるというふうには捉えておりますので、具体的に、もう既に行政ポイントでの給付に切り替えたものや、紙ベースからデジタルに発行の転換ということも見られております。さらに、それらを組み合わせて、この糸魚川地域にとって有益性であるもの、そもそもこの地域通貨がデメリットがあるのかということにもなるんですけども、利用者加盟店それぞれのメリットであったり、地域コミュニティの醸成であったり、そういった部分で地域活性化につなげていけるものというふうには捉えて、進めてまいりたいと考えます。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

阿部議員。

○13番（阿部裕和君）

今よりも経済政策というふうには捉えて、進めていっていただきたいと思えます。

私の一般質問を終わります。

○議長（古畑浩一君）

以上で、阿部議員の質問が終わりました。

暫時休憩いたします。

再開を11時30分といたします。

〈午前11時22分 休憩〉

〈午前11時30分 開議〉

○議長（古畑浩一君）

それでは、休憩を解き、会議を再開いたします。

松田徳彦議員。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（古畑浩一君）

松田議員。〔2番 松田徳彦君登壇〕

○2番（松田徳彦君）

日本共産党の松田徳彦でございます。

発言通告書に基づき、1回目の質問を行います。

1、地域公共交通の確保について。

路線バスの利用者が減少することにより、バスダイヤが縮小し、時刻表が赤字だけの路線が増えています。つまり、日曜・祝日は全て運休で、土曜日には数便の運行です。減便により不便になれば、さらに利用者が減っていくという悪循環に陥ります。

市の基本方針は、市民生活を支える地域公共交通の確保を図ることです。以下、伺います。

(1) 上南地区でのスクールバスを利用した「買い物・通院送迎バス実証事業」は、期間の半分を過ぎましたが、どのような状況でしょうか、伺います。

- ① 登録人数。
- ② 利用した登録者数。
- ③ 延べ利用者数。
- ④ 1日の平均利用者数。
- ⑤ 利用者の評価。

(2) この実証事業は、運行日・時間が限られていますが、低料金でもあり、路線バスなどの他の交通機関への影響をどう捉えていますか、伺います。

(3) 幾つかの自治体のオンデマンド交通を視察・調査してきましたが、当市においては、路線バスが維持できないところを、市が運営し、事業者に委託するオンデマンド有償運送に代えていくことが有効と考えます。予約・調整はAIではなく人が行い、車両は定員10人以下のワゴン車を市が購入し、貸与する方法を提案しますが、検討できないか伺います。

2、会計年度任用職員の処遇について。